



# キラップ<sup>®</sup> 粒剤

うまい汁は吸わせない！

斑点米カメムシを粒剤で!!

新発売



Bayer CropScience

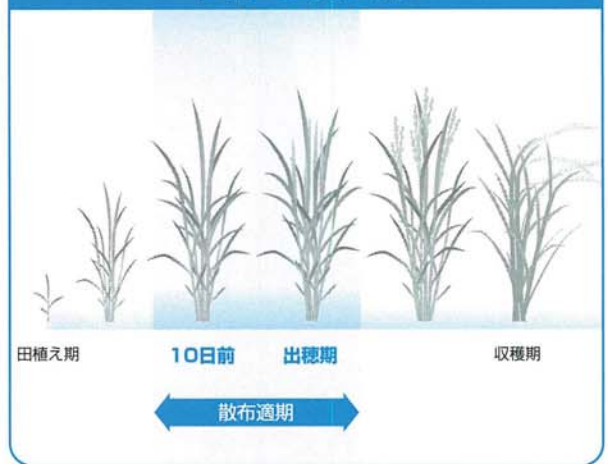
# キラップ® 粒剤

農林水産省登録 第22079号  
有効成分：エチプロール2.0%  
人畜毒性：普通物

## 特長

- ① 近年問題となっている斑点米カメムシ類に対し高い防除効果を示します。  
特に、アカヒゲホソミドリカスミカメのようなカスミカメムシ類に卓効を示します。
- ② 散布適期幅が広いので使いやすい薬剤です。
- ③ 長い残効性を有しているため、安定した効果を示します。
- ④ 粒剤タイプなので、防除作業が軽減できます。
- ⑤ 飛散による周辺作物への影響の少ない薬剤です。

## 上手な使い方



## 適用害虫の範囲および使用方法

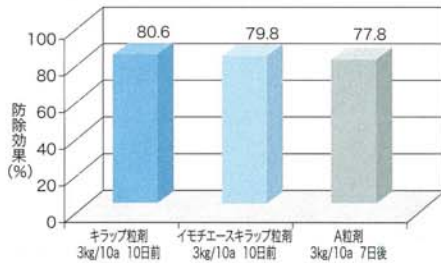
(2008年7月現在の登録)

作物	適用害虫名	10a当り使用量	使用時期*	使用回数*	使用方法
稲	カメムシ類 ウンカ類	3kg	収穫14日 前まで	2回以内	湛水散布

\*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

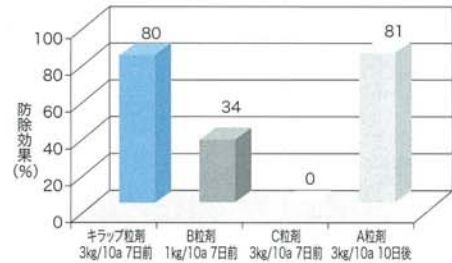
## 効果試験(委託試験)

### ■カメムシ類に対する効果



試験機関：福井県農業試験場  
主要カメムシ種：ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシ  
試験場所：福井県南条郡南越前町  
処理月日：平成17年7月10日（出穂10日前）対照薬剤は出穂7日後  
調査月日：平成17年8月24日  
調査方法：各区の畦畔から3列目の稲株を10株を刈り取り、  
粗玄米について斑点米を調査した(14282-17349粒)。

### ■カメムシ類に対する効果



試験機関：秋田県農業試験場  
主要カメムシ種：アカヒゲホソミドリカスミカメ  
試験場所：秋田県秋田市  
処理月日：平成17年7月25日（出穂7日前）対照薬剤は出穂10日後  
調査月日：平成17年9月20日  
調査方法：各区2カ所x10株、計20株を刈り取り、乾燥・調整後、  
精玄米について斑点米を調査した(23300-27182粒)。

## ■使用上の注意事項

- 散布に当たっては、湛水状態(水深3~5cm)で均一に散布し、散布後少なくとも7日間は湛水状態を保ち、田面を露出させず、落水及びかけ流しをしないで下さい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意して下さい。
  - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにして下さい。
  - ② 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
- 空袋は圃場などに放置せず適切に処理して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

F-1123/08.08 N Y 印刷：平成20年8月

バイエルクロップサイエンス株式会社  
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262  
www.bayercropscience.co.jp